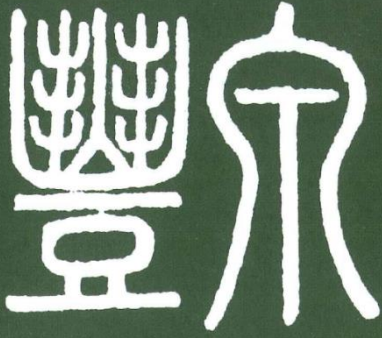


ほうせん



弘前大学附属図書館報 The Hirosaki University Library bulletin

2023.5

豊泉（ほうせん）とは 本学図書館が「汲めども尽きぬ豊かな知の泉であるように」との思いから、松原邦明名誉教授により名づけられました。（出典：明治9年『仏国学制』（文部省 翻訳・出版）附録上巻「学校ニ於テ教フル所ノ学科ノ外ニ、又人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」）

Hirosaki University Library

Hirosaki HIROSAKI UNIVERSITY LIBRARY

Hirosaki University Library 弘前大学附属図書館 医学部分館

Hirosaki University Library 弘前大学附属図書館

あなたの図書館スタイルは？

Hirosaki University Library 弘前大学附属図書館

Hirosaki University Medical Library 弘前大学附属図書館 医学部分館

Hirosaki University Library 弘前大学附属図書館

Hirosaki University Medical Library 弘前大学附属図書館 医学部分館

Hirosaki University Medical Library 弘前大学附属図書館 医学部分館

特集：きっとみつかる あなたの図書館スタイル

- 06 本との出会いを楽しむ〈第30回〉図書館長の本棚
「想像力と社会学」（附属図書館長 羽瀧 一代）
- 07 本の中のおいしいレシピ〈第3回〉〜ぐりとぐらのカステラ〜
- 08 トショカンの舞台裏 “旅をする本の話”の巻
- 09 図書館ショートストーリー「栞と嘘の暗号」〈第1回〉
- 10 Library's Half Year
- 11 寄贈図書紹介
- 12 読者の声&編集後記

No.57

あなたの図書館スタイル きっとみつかる



キャンパスライフに寄り添う図書館

弘前大学附属図書館へようこそ。

みなさんはどんなときに図書館に来ますか？

そして、図書館でどんな風に過ごしますか？

私たち一人一人が顔も性格も違うように、「学びのスタイル」はひとそれぞれ。また、昨日の私と今日の私も違うのですから、その日によってもキャンパスでの過ごし方は違うはずです。

弘大図書館では、そんなたくさんの学びのスタイルや過ごし方に寄り添う、様々な空間やサービスを提供しています。自分らしく過ごせる「図書館スタイル」がきっとあるはず。

この図書館が、みなさんにとって心地よい居場所になれるように……

LIBRARY DATA

■所在地

=文京キャンパス=
弘前大学附属図書館（本館）
青森県弘前市文京町 1

=本町キャンパス=

弘前大学附属図書館（医学部分館）
青森県弘前市在府町 5

■所蔵資料（全館）※2023.3.31 現在

図書：838,054 冊

雑誌：25,653 種類

電子ジャーナル：13,390 タイトル



図書館スタイル診断チャート

今日の気分はどうですか？

Yes・No チャートに答えていくと、
今日のあなたにピッタリな図書館
での過ごし方が見つかります♪

今日の気分は？

START

元気いっぱいだ

→ Yes
- - - No

わりと
時間はある

ほしいものが
決まっている

やる気に
満ちあふれている

ちょっと
色々シンドイ

やることが
たくさんある

一人だと
さみしい…

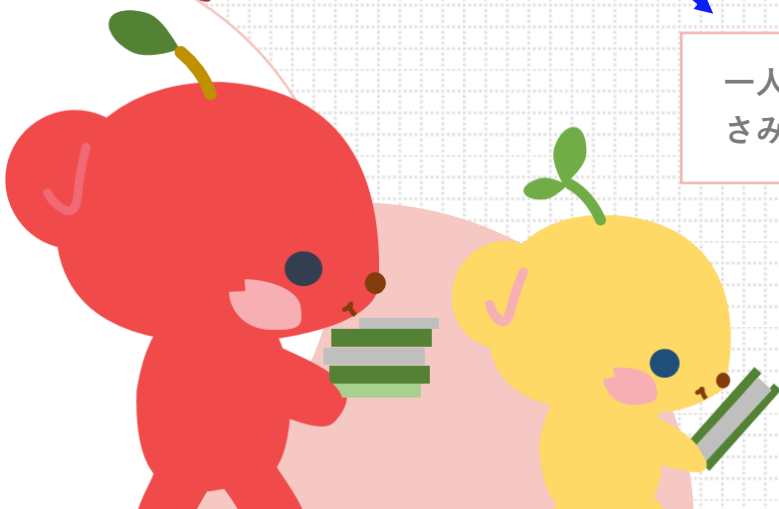
A

B

C

D

E



なんとなく 図書館を 散歩する



本館企画展示コーナー

オススメ本がずらり…
気になる本が見つかるかも♪



本館リーディング・ルーム

ゆったり小説を読みたい時は
ここのソファにどうぞ。



書庫

これぞ図書館の底力！蔵書約
80万冊を保管しています。

電子リソースで 効率的に 情報収集



蔵書検索 OPAC

お目当ての資料を探すなら
OPACで調べるのがオススメ！



弘大図書館 Web サイト

電子ブックや検索ツールへの
リンクがたくさんあります！



検索ガイド・マニュアル

使いこなすためのマニュアルも
ご用意しています。

スタッフに たよる



サービスカウンター

わからないことがあったら、
お気軽にスタッフへ！



オーダーメイド講習会

文献検索講習や図書館ガイダ
ンスは一人でも参加 OK！



参考調査カウンター

弘大にない資料は他大学から
お取り寄せできます。

静かな空間で 集中して 勉強する



本館 2 階閲覧室

幅 120 cm のデスク、パソコン
や資料を広げて使えます。



分館閲覧室

学生や OB が制作した写真と
絵画が展示されています。



書庫内の閲覧席

書庫の中にも閲覧席があります。
窓からの景色も堪能♪

友達を誘って グループ 学習する



本館グループ学習室

個室でディスカッションしな
がらの勉強はこちらで。



プレゼンテーション・スタジオ

機材がそろっているので発表
のリハーサルなどに便利♪



グローバル・スクエア

ここは会話 OK な大空間。
英語ニュースも流れています。

なんとなく図書館を散歩すると 昨日とは違う図書館に出会えます

図書館には学習に役立つ本からちょっと息抜きに読みたい小説まで、たくさんの本を揃えています。皆さんの「出会えてよかった本」が見つかったら嬉しいです。
本のリクエスト制度もあるよ。

図書担当



図書館の電子リソースは あなたの大切な時間を無駄にしません

実は電子リソースは自宅などからも使うことができます♪
「今日は時間がなくて図書館に行けないっ！」そんな時でも役立つこと間違いなし。
分からないことがあったらいつでも聞いてね♪

雑誌担当



シンドイときは… 私たち一緒に考えます&探します

「資料の探し方が分からない」「自分では見つけられない」というとき、様々な資料やデータベースを使って一緒に調べお手伝いをします。
お気軽に相談してくださいね。

参考調査担当



やっぱり図書館なら 静寂に包まれじっくりと思考できます

授業の合間の時間も、集中してしっかり勉強したいとき、図書館の閲覧席はあなたの強い味方です。場所によって机・椅子はよりどりみどり。
あなたのお気に入りの椅子はどこですか？

カウンター担当



図書館に来ると… 仲間がいるそれが励みになります

図書館には色々な学びのスタイルにあった空間があります。個人でもグループでも、自分なりのこだわりやその日の気分に応じて活用してくださいね。いつも快適に過ごせるよう応援しています。

カウンター担当



Library Events



みているだけじゃ、もったいない！

参加型イベントの詳細はこちら



<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/about/events/>

Digital Library



いつも手元に図書館を

デジタルアーカイブ&貴重資料一覧

<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/collection/rare/>

弘前大学学術情報リポジトリ

<https://hirosaki.repo.nii.ac.jp/>

本との出会いを楽しむ

第30回

図書館長の本棚

「想像力と社会学」

羽瀧 一代

弘前大学附属図書館長・人文社会科学部教授。文化社会学を専門としており、主としてメディア文化と若者の親密性の研究をおこなっている。近編著として『現代若者の幸福—不安感社会を生きる』などがある。



『指輪物語』はJ.R.R.トールキンのファンタジー小説である。P.ジャクソン監督による映画『ロード・オブ・ザ・リング』でこの作品を知った人も多いだろう。最近ではAmazonがドラマ化しており、約100年をかけてマルチメディア化されるほどの重要な作品であり、世界最高水準のポピュラリティを獲得した説得性の高い物語である。

社会学は現代の人間関係を対象とする科学であるため『指輪物語』を本コーナーで取り上げるのはいささか不自然かもしれない。しかしわたしは人間にとって想像力ほど重要な能力はないと考えている。また学術の世界に限っても同様のことがいえると思っている。人文科学においてのみならず、社会科学や自然科学においても同様であり、科学者においてもっとも重要な能力は想像力である。

想像力を使って生産されるアートの一つが物語である。そしてファンタジーはその中でももっとも想像力を必要としている。著者のトールキンは作家であるが、古代・中世英語、英文学の学者でもあった。研究した伝承文学や神話から着想を得ているといわれており、研究と創作のあいだをいったりきたりしながら壮大な物語を紡いだのだろうと推測できる。そしてこの物語によって現実社会の言葉も創造されたり、変化させられたりしている。

この物語は、概ね、長い長い旅のエピソードを集めたものである。エピソードには軽重あり、またそれらは人生のレトリックとして読むことができる。つまり細かく些細なエピソードに美的価値が感じられるのであ

る。それらが集積し、人生の美的価値となる。

このような手法は社会学の方法論的エッセンスと通じるものがある。社会学者は様々な社会現象をデータとして収集し、分析をおこない、社会を記述し説明する。その際にデータとして扱われるエピソードや統計データの集積により大きな物語が構築される。

誰でも知っているような凡庸なエピソードや、心躍るような意外なエピソードなど、さまざまな物語があるが、どれも社会を説明するためのピースとなる。また物語ることのできない余白も重要な要素となっている。

研究領域の異なる研究者らから「社会学は何を目指す科学なのか」と問われることが稀にあるが、わたしはいつも字義どおり「社会の成立を明らかにする科学です」と答えている。それではどうしたら社会の成立を示したことになるのか、どのように検証可能なのか、ということそれは自然科学とはまったく異なっており、むしろ優れた文学作品のありようと似ていると思う。なぜなら多くの人が納得できる社会学の説明力の高い社会理論を示したときにそれは検証されたといえるからである。

(はぶち いちよ)

「指輪物語. 新版」

J.R.R.トールキン著
瀬田貞二, 田中明子訳

開架図書 (本館 2F)

933
To47



第3回 「ぐりとぐらのカステラ」

—「お探し物は図書室まで」—

今回紹介するレシピは、『お探し物は図書室まで』のなかで登場した「ぐりとぐらのカステラ」です。この本は、2021年の本屋大賞2位の作品で様々な人の人生の「探しもの」を見つけられる図書室の物語です。人生に悩む5人の主人公がふとしたきっかけで訪れた図書室で聞き上手な司書が意外な本のセレクトと可愛い付録で彼らの背中を後押しします。

第1の主人公朋香は、総合スーパーで働いている21歳の女性。なんとなく会社に入りなんとなく生きていた。そんな自分を少しでも変えたいと思いパソコン教室に通い始める。少しでもパソコンが上達するために図書館に立ち寄り、司書に相談するとパソコン関連の本の他に『ぐりとぐら』の絵本とフライパンの形をしたフェルトを渡されます。『ぐりとぐら』を読み、これをきっかけにカステラを作ることに挑戦します。最初はうまくできなかったものが次第にできるようになり同僚が言った「続けているうちに分かることが

ある」という意味がわかります。

“あせらなくていい、背伸びしなくてもいい。今は生活を整えながら、やれることをやりながら、手に届くものから身につけていく。備えていく。”(57頁)

もうひとつの主人公「ぐりとぐら」。「ぐりとぐら」は野ねずみの兄弟。料理すること・食べることが好きな「ぐりとぐら」は森の奥へ散歩に出かけた時、大きな卵を見つける。卵を持ち帰って家でカステラを作ろうと動かしてみたら重くて動かない。しかたなくその場でカステラを作ることにし、調理器具や材料を運び、大きなカステラを焼き上げる。いい匂いに誘われて集まった動物たちと一緒に美味しく食べた。残った大きな卵の殻はどうなったのでしょうかというお話。『こどものとも』93号に収録。1963年12月発行で私が生まれて3ヶ月後に誕生していました。

お菓子作り1年生が挑戦してみました。インターネットで何でも調べられる時代になり、レシピ等を参考にしながら作りました。電子レンジを活用すれば成功したかもしれませんが、今回フライパンを使用しました。しかし、見事に失敗。火加減を調整したのですが真っ黒に焦げしまいました。何事も失敗を経験して上手くなるものです。先に記載した本文の内容を実感した瞬間でした。

この季節、新しい生活を迎えた方も多くいると思います。最初はみんな1年生です。失敗を恐れず、前に向かっていけば何とかなるものです。もうすぐ一つめのゴールを迎える男のレシピでした。

| | |
|---|---------------|
| お探し物は図書室まで 青山美智子著 小説・文芸書(雑誌棟1F リーディング・ルーム) | 913.6 A58o |
| ぐりとぐらとなかまたち 宮城県美術館[ほか]編 開架図書(本館2F) | 726.6 G95 |

トショカンの舞台裏

何度も使用された形跡がある梱包材。この小包には、いったい何が入っているのでしょうか。実はこの中には、遠くの図書館から貸出を依頼された図書が入っています。北から南へ、東へ西へ。弘大図書館の図書は意外とあちこちに旅をしています。

今回は参考調査カウンターの舞台裏、本が旅をする「相互貸借」についてご紹介します。

……………**旅をする本の話**……………

角田光代の「旅する本」という短編があります。主人公が、古本屋に売った1冊の本といろいろな国で再会するお話です。日本の古本屋に売った本とネパールで再会し、ネパールで売ったはずの本と今度はアイルランドで再会する……その奇跡のような巡りあわせと、本がたどったであろう旅路に、とても興味をそそられます。

そこまで運命的なものではありませんが、実は図書館の本もあちこちに旅をしています。

……………**ILL(相互貸借)って何?**……………

弘大図書館本館には貸出返却カウンターと参考調査カウンターがあります。参考調査カウンターでは資料検索や情報収集についての相談を受け付けていて、特にILL業務を行っています。

ILLとは、「Inter Library Loan」の略で、図書館間相互貸借のことです。弘大図書館の予算では、全国で日々出版される図書をすべて購入することはできません。それは他の大学図書館や公共図書館も同様です。そこで、自館に無い図書は他館に依頼して借りる、他館に無い図書は依頼に応じて自館から貸し出す、という風にお互いに助け合いながら、利用者の方に資料を提供しているのです。現物の貸借ができない場合は、著作権法で決められた範囲内で複製物の取り寄せもしています。

探している資料が他の図書館にあるかどうかは、

“旅をする本の話”の巻



CiNii Books というデータベースを使えば調べることができます CiNii Books は全国の大学図書館の所蔵を一括で検索することができるとても便利なデータベースですので、ぜひ使ってみてください。

……………**本が無いと諦める前に**……………

「弘大の図書館には読みたい本がない！」という方、諦めずに参考調査カウンターへご相談ください。(本町キャンパス所属の方は医学部分館のカウンターでも受け付けています) 北は北海道から南は沖縄まで、全国の図書館(主に大学図書館)から、本をお取り寄せいたします。ただし、本の旅費(往復分の送料)は、利用者の方にお支払いいただきますので、よろしくお願いいたします。

……………**本の旅路に思いをはせて**……………

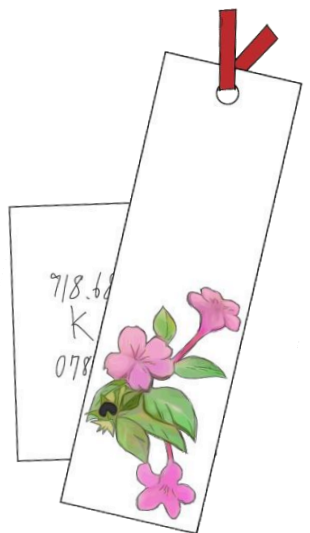
他の図書館から図書を借りることができるのと同時に、弘大図書館の図書も、あちこちに貸し出しています。図書館の書架に静かに納まっているように見える本たちですが、ある日突然依頼され、嚴重に梱包されて遠くへ旅立つことがあります。昨年度は400冊以上の図書が、他の図書館へ旅立ち、どこかの誰かに読まれて、帰ってきました。

貴方が手に取ったその本も、実はどこか遠い地へ旅をして、帰ってきた本かもしれません。

ILL(文献複写・相互貸借)のお申込みについてはこちら
<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/guide/backorder/>
 CiNii Books
<https://ci.nii.ac.jp/books/>

葉と嘘の暗号 第一回

この物語はフィクションです。
登場する人物・名称等は架空であり、
現実のカウンター対応とは関係ありません。



「どうぞ。返却期限は6月1日です」

そう言ってカウンターのの上に本と学生証を置いた。こういう声かけはまだ慣れなくて少し気恥ずかしい。カウンターの向こう側にいる学生は貸出手続きが終わった本をでかいリュックに詰め込んで、さっさと図書館の外に出て行った。

「ただいま。配架終わりましたよ」

「先輩、お疲れさまです」
振り向くと、先輩がブックトラックを押しながら帰ってきたところだった。

返却された本を本棚に戻すことを配架というらしい。そしてこの移動する本棚みたいな台車はブックトラックと呼ばれている。あれもこれも、四月にこのアルバイトを始めて、初めて知った言葉だ。

「あれ？先輩、まだ一冊残ってますよ」
分厚くて小難しいタイトルの本が一冊、ポツンとブックトラックに載っている。

「ああ、これは返本台にあったんだ」
「へんぼんだいって何でしたっけ？」

「ほら、あの参考図書のところにもあるだろ？戻す場所がわからなくなった本とかは、あそこに置くんだよ。んで、スタッフが回収して元の場所に戻すんだ」

言われてみれば、前にそんな説明を聞いた気がする。

「一応、貸出中になっていないか調べて」

「了解ッス」

たまに、間違えて自分が借りている本を返本台に置いてしまう人がいるらしい。それに気づかず本を書架に戻してしまうと、データ上はその人がその本を借りたままということになってしまう。

本に貼ってあるバーコードを読みとると、ディスプレイに本のタイトルが表示された。

誰かが借りている本ではないようだ。

「一応、中身もチェックもしておいて」

「了解ッス」

紙を破かないように気をつけながら、バラバラとページをめくる。本棚に戻す前に、ページが破れていないか、汚れていないかということも、チェックしなければいけない。それに、本にはいるいるな忘れ物が挟まっていることがある。貸出のときのレシートとか、ノートの切れ端とか、

「あ」

「どうした？」

「葉が挟まってたッス」

ピンクの花の絵が描かれた葉と、暗号のよ

うな数字のメモが挟まっていた。

「貸出履歴が無いのに、葉が挟まったのか？」

「そうッス」

「じゃあ、落とし物のガラスケースに入れておくか」

図書館の中で拾った落とし物は、すべて階段脇にあるガラスケースに保管されている。

自分が無くしたものがそのケースに入っている、カウンターに申し出て受け取ることができるのだ。

「このメモは捨ててもいいんですか？」

「どんな内容？」

「意味わかんない数字ッス」

「これ、請求記号じゃん。背ラベルの英数字」

「ああ、そうやって三段になってたらわかります」

図書館の本はすべて背ラベルの番号順に並んでいるのだ。

「これ、何の本だろ」

数字だけ示されると、なんとなく気になる。「知らんけど、たぶん日本文学の全集だろうな」

「えっ。なんでわかるんですか？」

「ああ、この数字は本の分類……ジャンルを

表してるから」

「へ」

知らなかった。数字の意味なんて気にしたこと無かった。

「……この本、探してみたいですか？」

「この請求記号の本？別にいいけど、なんで？」

「なんとなくッス」

子どもの頃、クラスで「宝探しっこ」が行ったことがある。誰かが「宝」をどこかに隠してその場所を示す暗号を作り、みんなでその暗号を解読して「宝」を探す遊びだ。暗号を作るのも楽しいが、解き方を考えて「宝」を見つけた瞬間がもっと楽しかったのを覚えている。

「まあ、いいけど。一応、配架場所を確認した方がいいよ。ほら、この八桁の数字がたぶん資料IDだから、OPACでこの数字、検索してみて」

請求記号と資料IDを使って調べると、メモにあった本は思ったよりあっさり見つかった。確かに日本文学の全集だ。

そしてその本にも、花の葉が挟まっていた。 つづく



Library's Half Year 2022.12~2023.5



| | |
|-----|--|
| 12月 | 12/1 第11回 Book Hunting@Web 選書 (~12/15) |
| | 12/13 「図書館福袋をつくろう！」ワーク ショップ実施 |
| | 12/20 図書館福袋貸出開始 |
| | 12/26 コーヒー無料提供サービス終了 (2022/10/27~12/26) |
| 1月 | 1/6 ProQuest Research Library の 購読開始 |
| | 1/16 他大学からの文献複写・相互貸借 サービスの一時停止 (~1/31) |
| 2月 | 2/11 文献検索講習会70分放送(全4回) |
| | 2/20 蔵書点検 (~3/17) |
| 3月 | 3/2 R4 年度第3回図書館運営委員会 |
| | 3/9 文献検索講習会70分放送(全4回) |
| | 3/13 オナーナイト 文献検索講習会受付開始 |
| | 3/29 「官立弘前高等学校資料群」デジタ ルアーカイブ公開 |
| 4月 | 4/1 学外者の利用制限解除 (本館) |
| | 4/3 本館開館時間の変更 (授業期平日 8:30 開館) 閲覧席の間引き解除 (本館) 個室利用人数変更 |
| | 4/11 基礎ゼミガイダンス実施 (~6/30) |
| | 5/8 POP コンテスト作品募集開始 |
| | 5/15 学外者利用再開 (分館) 閲覧席の間引き解除 (分館) |
| 5月 | 5/31 豊泉第57号 Web 公開 |

2021 年度好評だった借りる福袋「図書館福袋」は図書館スタッフと図書館サポーターが福袋を作成しましたが、2022 年度はワークショップを開催し、参加した学生とスタッフが共同で福袋を作成しました。ワークショップの様子は弘大 HP でも紹介され、「図書館福袋」は多くの利用者に貸出されました。

2023 年 1 月より ProQuest Research Library の購読を開始し、新たに約 5,000 誌の電子ジャーナルが閲覧可能になりました。また、2022 年度は「官立弘前高等学校資料群」の中の「開校・閉校関係資料」「北溟寮関係資料」「教務日誌」の 3 件及び「本省令達書類」の一部、資料点数にして 35 点をデジタル化し、3 月に図書館ウェブサイトで公開しました。

2023 年 4 月、本館は大学の方針に従って、感染症拡大防止のため制限を全面的に解除しました。一部閲覧席で行っていた間引きは解除し、1 人席として運用していた 2 階および 3 階のアクティブ・ラーニング・エリアをグループ利用可能としました。定員数を少なめに運用していた 1~3 階にある個室は本来の定員数に戻しました。また、学外者の利用制限を解除し、コロナ禍前と同様に利用証で入館し自由に利用できるようにいたしました。

令和元年度の利用者アンケートに基づき令和 2 年 4 月から試行していた開館時間について、授業期の平日は 8:30 に開館することが図書館運営委員会で承認され、弘前大学附属図書館利用細則を改正しました。




寄贈図書紹介

本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書資料をご紹介します。(令和4年10月～令和5年3月受入分)

| 寄贈者 | 書名 | 著者・編者 | 出版社 | 冊数 | 所蔵先 |
|---------------------------|---|---|-------------------------|----|--------|
| 池田憲隆(名) | 近代日本海軍の政治経済史:「軍備拡張計画」の展開とその影響 | 池田憲隆 | 有志舎 | 1 | 本館 |
| 泉谷眞実(農) | 国産ナタネの現状と展開方向:生産・搾油から燃料利用まで | 野中章久 | 昭雅堂 | 1 | 本館 |
| 泉谷眞実(農) | 食料・農産物の流通と市場 | 滝澤昭義 [ほか] | 筑波書房 | 1 | 本館 |
| 白石社一郎(人) | 家族生活と協働の地域社会学:データでみる湯湯温泉:弘前大学人文学部社会行動コース社会調査実習実習生報告書 | 作道信介, 羽野一代 | 弘前大学人文学部社会行動コース社会調査実習生 | 1 | 本館 |
| 白石社一郎(人) | 地域研究方法論の総合的検討=Themes and methodologies in area studies(2) | 白石社一郎 [ほか] | 弘前大学人文社会科学部 | 1 | 本館 |
| 白石社一郎(人) | 「不治の病」から「治す病気」へ:松丘保鑑画『甲田の根』からみる療養者の「戦い」:調査報告書:コピットさん2021:36歳ポートフォリオ | 弘前大学人文社会科学部地域行動コース | 弘前大学人文社会科学部地域行動コース | 1 | 本館 |
| 長谷川成一(名) | 津軽為信:戦国を駆け抜ける影殿と呼ばれた初代藩主 | 長谷川成一 | 弘前市立博物館 | 1 | 本館 |
| 弘前大学出版会 | データサイエンス基礎 | 紅林巨 [ほか] | 弘前大学出版会 | 1 | 本館 |
| 弘前大学出版会 | バーチャル家族ロールプレイ(放線線りスクコミュニケーション実践テキスト)地元サラリーマン家族編 | 弘前大学大学院保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会放線線りスクコミュニケーション教育部門 | 弘前大学出版会 | 1 | 分館 |
| 弘前大学出版会 | 青森からははたく!!じよっぱり起業家群像2 | 森樹男 [ほか] | 弘前大学出版会 | 3 | 本館2/分館 |
| 弘前大学出版会 | 戦うことに意味はあるのか:平和の価値をめぐる哲学的試み.増補改訂版 | 佐藤香織 [ほか] | 弘前大学出版会 | 3 | 本館2/分館 |
| 弘前大学出版会 | 電子情報工学実験 | 弘前大学理工学部電子情報工学科 | 弘前大学出版会 | 1 | 本館 |
| 弘前大学出版会 | 白神どうぶつ讃歌:白神の森で出あった動物たち | 小原良孝 | 弘前大学出版会 | 3 | 本館2/分館 |
| ヤコバス・ニコラース・ウェスタホーヴェン(伝教員) | De blauwe schuit | Shugoro Yamamoto ; uit het Japans vertaald door Jacques Westerhoven | Uitgeverij Van Oorschot | 1 | 本館 |
| 山田巖子(人) | 大学生の俗信と「知識」に関する調査報告書:単純集計表 | 山田巖子 | 俗信研究会(弘前大学人文社会科学部) | 1 | 本館 |

※敬称略。寄贈者名の50音順。カッコ内は寄贈者所属。
(名): 名誉教授、(農): 農学生命科学部 (人): 人文社会科学部



第9回弘前大学附属図書館 POPコンテスト

あなたのおすすめの本をPOPで紹介してください

第9回附属図書館 POP コンテストのご案内

募集期間: 2023年5月8日(月) ~ 7月14日(金)

POPとは、店頭に置いたり商品につけたりする広告のこと。本屋さんなどで、メッセージカードのような個人的で面白いPOPを見つけることができます。

おもしろかった

泣けた

ためになった

貴方のおすすめの本を、絵や文で紹介してください。

応募要項はこちら <https://ul.hirosaki-u.ac.jp/about/events/contests/>

問い合わせ
応募先

0172-39-3163
jm3163@hirosaki-u.ac.jp

情報サービスグループ
本館1階サービスカウンター



- ☆☆賞品は図書カード☆☆
- | | |
|----------|------|
| 大賞 | 3万円分 |
| 優秀賞 | 1万円分 |
| 佳作 | 3千円分 |
| サンライズ産業賞 | 1万円分 |
- 協賛: サンライズ産業株式会社様

豊泉 読者の声

弘前大学図書館報『豊泉』では、読者の方々からのご意見・ご感想を募集しております。

今回は、『豊泉』55号に寄せられた「読者の声」をご紹介します。

●全部のコーナーを楽しく拝見しております。「トショカンの舞台裏」や「図書館員のちょこっとコラム&編集後記」で図書館員の仕事とやりがい、その人となりを紹介しているのは興味深いし(利用者は知らないと思う)「本の中のおいしいレシピ」は実際作ってみての感想なので、作ってみたいくなります。

(教職員 ガーデンさん)

図書館の人って、謎につつまれている部分が多いですね、きっと(笑)皆さんにもっと親しみをもっていただけよう、「素」の姿をどんどん出していきたいと思います！

●「本との出会いを楽しむ」のおかげで読書のジャンルの幅が広がりました！

(理工4年 H・Kさん)

私達も、執筆して下さる方がどんな本を選んでくれるのか毎回とても楽しみなんです。次回もお楽しみに！

●おすすめ図書みたいなコーナーがあったら見てみたいです。

(理工3年 I・Yさん)

私も、いろんな人のおすすめ図書がもっと知りたいです！I・Yさんはどんな人のおすすめ図書が知りたいですか？(例えば、「学生が選ぶ10冊！」とか「〇〇先生のおすすめ百選」とか?)またリクエストいただけると嬉しいです。よろしくお願いします！

●NHKの「グレーテルのかまど」のようなエピソードでおもしろかった。『ハリー・ポッターと秘密の部屋』は読んだことがあるので親近感がわいた。もう一度読みたいと思った。

(農学生命科学研究1年 Tiliaさん)

一度読んだことがある本でも、少し間をあけてから読むとまた新しい発見がありますよね。ぜひまた読んでみてください。

◆編集後記

今回、お菓子に挑戦してみました。レシピを見た時、砂糖の量の多さにびっくりしました。失敗しましたが、次回は、おいしいカステラを食べれたらと思います。また、ある番組で紹介していた白いホットケーキ(小麦粉の代わりにタピオカ粉を使うようです)に挑戦したいと思います。

(Sasaki)

図書館報『豊泉』は5月と11月の年に2回発行です。弘大図書館をもっと知ってもらうため、もっと身近に感じてもらうため、いろいろな特集・連載をしていますので、次回もよろしくお願いします。(Maru)

4月から図書館に配属になりました。数多くの本に圧倒されておりますが、素早く業務を覚え、お役に立てるように頑張ります。(Tsushima)

弘前大学附属図書館報「豊泉」 第57号

発行日：令和5年5月31日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会

〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3163

FAX 0172-39-3171

MAIL libpress@hirosaki-u.ac.jp

【弘大図書館公式 twitter】

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!



@HirosakiUnivLib

【弘大図書館ホームページ】

弘大図書館の利用方法や各種イベント、所蔵資料・コレクションなどの詳しい情報はホームページで公開しています。

<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/>



図書館ホームページ

